

1. 臨床実習で良かったことを教えてください。

実際に見るのは座学と違って、ずっと頭に残るので本当に勉強になった。
患者さんを実際にみながら、先生に指導をうけることで、病気の症状や治療法がきちんと知識として身についた。
実際の患者さんを診ることが出来たこと。
これまでの学習と、実際の臨床現場で使う知識の差を感じる事ができたこと。
実際の医療現場を体験出来て、普段の学習方針の指標になった。
患者さんと実際に接することで勉強のモチベーションが上昇した。
実習が主体なので、あきなかった。
実際に患者さんとお話したり、診察させてもらったこと。
授業で聞いただけのものを実際に実習できて、理解が深まった。
現場の雰囲気を知ることが出来たこと。
各科の実際の業務内容が分かり、自身の将来像がイメージ出来た。
熱心な先生についていた時は非常に勉強になった。
患者さんから多くのことを学べた。
手技が学べた。
現場をみる事が出来た。
すべての科をまわることが出来、座学よりも勉強になった。
現場のことをたくさん勉強できた。
近くでopeを見学できたこと。
問診や手技などを勉強できた。
今まで、学習してきたことを、自分で見学し、知識と結びつける事ができた。Drの指導を受けられるので、あまり勉強してこなかったが、すごくやる気をもらった。
患者さんと話が出来た。
自分がドクターになった時のことが想像できた。
実際に患者に接することで、疾患群に対する理解が深まった。またなによりも患者と接することそのものが、今後の自分にとって大きな財産になっていくと思う。
教科書や写真でしか見たことのなかった検査や器具を直に見ることができて良かったです。
班メンバー、科による。
少しは先のビジョンが見えてきた気もすること。
医療面接の実践が出来た。検査の緊急性や手技の難易度を身をもって体感できた。次に何をしますか？という問題が、解けるようになった。
実際に患者さんを担当することでその疾患について詳しくなることができた。座学よりもイメージがもちやすいし、印象にも残りやすい。
長崎県民の方は、とても医学生への育成に理解があるので、診察など色々なことを行わせてくれたこと。先生も忙しい中、とても面倒もみてくれ、とても勉強になる。
実際にみることでイメージがわくようになった。
実際に持ち患者さんとしてその疾患について勉強するため、その疾患について深く知ることができたこと。実技を学べること。
実際に患者さんと接することができ、疾患などをより具体的にイメージできること。
実際の疾患を診ることで、疾患に対する理解が深まった。
自分の興味のある科が分かった。
座学で学習したことを実際に病棟で見ることができたこと。
ドクターや研修医と飲みに行き、ぶっちゃけ話が聞けたこと。
患者さんを通して学ぶことで、頭にしっかり残った気がする。
担当した患者さんの疾患について勉強できた。
臨床の先生の名前を覚えられたこと。
自分に向いている科、不向きな科を理解することが出来る。
患者さんと実際にお話をする事ができ、学ぶことが多かったです。
患者さんへの問診と症例レポートの作成、外来への参加、熱心な指導付きの外科手術実習。
患者さんと接することがよかった。
実際の症例や手技を見ることが出来た点。座学よりも記憶に残って良い。ポリクリ中の講義も勉強になることが多かった。
診療科の雰囲気を知ることができて、将来進む診療科の参考になった。
早寝・早起きできたこと。
実際の現場で診療等できたこと。
医者がどのようなプロセスをもって診療しているのかを見ることができた。
指導医の先生にみっちり教えてもらって、勉強になった。
いろんな科をみて、勉強することができた。
意欲を見せれば、先生方もそれに応えてくれました。
各科の先生方が大変熱心にご指導くださったことです。大変勉強になりました。
その他、病院の図書館が24時間利用可能な点が、勉強するのにとてもありがたかったです。
現場の医師からの視点で教えてもらうことができた。
座学での勉強で得た知識を実際の臨床と組み合わせることで、より生き活きとした記憶となった点。
先生方と親しくなれた。患者さんとの思い出ができた。班のメンバーがよく、楽しく過ごすことができた。学習意欲にも繋がった。
医療現場の医師の視点で医療について考えることが少しずつ出来るようになった。
講義で学ぶよりも勉強になる部分が多かった。
自らが学んできたことが実践されている現場を目にすることで、喜びを感じられる。

2. 臨床実習で苦勞したこと・悩んだことを教えてください。

自分の知識不足。
看護師との接し方が悩みどころだった。
やっと実習に慣れた時点で新しい診療科に移ったこと。
何をしたいのか分からない時間などが多々あった。
指導してくれる先生との会話。
実習以外の部分（先生方へ気を遣ったりなど）で気疲れしたことがあった。
興味の無い科でのモチベーション維持の難しさ。
プレゼンテーションをうまくすることができなかった。
朝が早い。
離島実習で、予定の日に帰れなかったこと。
短い期間で環境が変わるので、慣れるまでが辛かった。
先生達の会話が高度すぎて分からないことが多い（特に専門用語と論文の話）。
レポートの書き方が身に付くまではしんどかった。
グループ内の人間関係は心底嫌になることが何度かあった。
患者さんとのコミュニケーション。
産婦人科、熱研内科の実習中、先生がカルテを書いているのを後ろでひたすら待たされるということが多々あった。他に離れてもいいならできることはたくさんあるので一声かけてほしい。
患者さんとの人間関係。
朝が早い。
朝が早い。
立ちっぱなしで腰が辛い。
勉強不足、質問されても分からない。
医者になってがんばっていけるかどうか。
産婦人科の先生の対応。
カンファでの質疑応答。
積極的に行動すること。
一週間の期間しかないマイナー科などでは、自分から動かないといっただけで終わってしまう。
新しい実習する科に慣れることに時間がかかった。
教科書的な知識だけでは理解出来ないことが多々あった。
対人関係。
科によって、先生にかまわれなかったこと。
勉強についていけない。
手術のとき、話しかけてくれる科は楽しかったが、先生方だけで会話する科では、立っているのが少しづらかった。また、次に何をするという指示がなく放置されるのが少し辛かった（レポート書いてきていいよ、と言ってもらえるととてもありがたかった）。
外科でご飯が食べられないのが辛かった。
ごくたまに、合わない先生がいる。すごく放置されることもある。必死に金魚のふんのごとくつきまとってどうにか。
国試に向けての座学との両立。結局ほとんどしなかった。実習を一生懸命取り組むことが今すべきことと信じて割り切った。
疾患についての理屈や疫学を調べたいとき、何を使って調べればいいのか分からないことが多々あったこと。
発表が下手なこと。
カンファレンスの準備。
先生に叱られたときに悩んだ。
患者さんとの会話の内容に困った。
7:15集合は起きるのが辛かった。
PHSがないときは先生たちとよくはぐれて大変だった。
腹腔鏡の映像がいったいどこをみているのかいまだにわからない。
体力。
手術を見学するとき、立ちっぱなしになるのがきつかった。
はじめの頃は慣れていなくて自分がどう動いたら良いか戸惑うことも多かったです。
知識不足とマナーがなってなかったことで、恐る恐る実習せざるを得なかった。自信がない現状に悩んでいた。
最初の頃は実習のレポートの書き方が分からなくて困った。カルテのデータをレポートに記載する必要があることも多いが、そのデータの扱いに困ることが多かった。
ずっと班の人が同じだったので気分や場の雰囲気が単調になり、終盤は苦勞した。
班員との関わり。
放置されたときに辛い。
先生とのコミュニケーション。自ら話しかけないと相手をしてもらえない場合があった。
毎週のように環境が変わり、慣れるのが大変だった。
カンファ発表、レポート。
朝が苦手なので苦勞しました。
人間関係。
科によって、実習の最後の発表形式や、カンファで発表するのかがどうかが明示されないまま実習が始まることがあり、見通しが立たずに戸惑うことがありました。
図書館のPCがいつぱいで、使えないときがあり困りました。
始まったばかりはPHSでかけるときにかけていいものか迷う
実習自体で特に悩んだことはありませんでしたが、レポートばかりに追われてなかなか自分の勉強の時間を確保できませんでした。
先生との連絡。
集合時間の早い科。
毎回新しい科に行き、自己紹介をして質問に答えること。

3. 5年生のオリエンテーションの際、「ここを覚えておいてほしかった」と思ったことはありましたか？

カンファでの専門用語・略語。
先輩たちの実習を終えての声。
各科の雰囲気など。
オリエンテーションを良順ではなく病院で行いカルテの書き方、画像の見方（どこにあるか）等すぐに必要なことを体験させて欲しい。
オペの帽子の色 各科初日の集合場所の地図。科によって分かりにくいので。
カルテの見方（サマリーとか）。
学年末試験の内容や日程。
手引書には確かスニーカー禁止だったが、実際白か黒のスニーカーなので書き方がまずいと思う。
オペ室の眼鏡の位置と毎回持っていかなくてはならないこと。
工事について いつの間にか道が封鎖されるなどした。
発表の仕方（最後の方のタームになるほど雑になるので）。
ポリクリ生のスタンスを知りたい。どこまで介入していいのか、お客さんなのか、どこまでやっていいのかやっってはいけないのか。
実習を欠席する際の連絡先。無断欠席すると出席した学生がとぼっちりを受けるので。
スモール班の決め方について。
火曜日始まりの週について。連絡が曖昧だった。
病院内Wi-Fi利用申請書の出し方。
上五島 LANケーブルがあればネットが使える。

4. 新5年生のために、臨床実習に関するアドバイスをお願いします。

実際の医療現場で患者さんと接する機会は貴重なので病棟実習になっている時間は出来るだけ患者さんの所へ行くようにしてください。
とりあえず先生と積極的に接することが大切だと思います。
知識がある方が楽しく実習できる。
症例についてしっかり勉強した方がよいと思います。興味を持たなければ何も得られず終わってしまうと思います。
次にまわる科の予習でネット講座などを受けると勉強になると思います。
まじめに実習を受けるほどポリクリは楽しめるように感じました。
ポリクリ最初から国試を(少し)意識して臨む。
長崎大学では色々なことを他の大学よりもやらせてくれます！自主的にどんどん先生方に声をかけて実習をやりあるものにしてください。
なるべく出席した方がいい。
楽しんでください。
実習中に分からないことがあったら調べてみるから、それでもわからない時は先生に聞くようにしたら勉強になると思う。
人見知りとかコミュ障害とか言っただけで自分で言い訳するのはもったいないし周囲は見て嫌な気分なんでやめた方がいい。
遠慮せずに質問した方が喜ばれます。
実習は積極的に自分から学ぼうとするのが大切だと思います。
毎日出来る限り患者さんの所に会いに行ってください。
勉強すべき。
しっかりと息抜きをする。
頑張ってください。
能動的に動く。
オンとオフの切り替えが重要だと感じました。
分からないことがあればすぐに先生に質問すること。
あまり背伸びをしすぎずに、地に足をつけて優先順位をつけて自分に足りないものを補ってほしい。
自分から積極的に行動した方が楽しく充実した実習になると思うので頑張ってください。
スマールの班に女子2人だとエコーの実習などが大変だと思う。
後悔せぬように。
外科はグループに分かれるのでそのグループによっては見れない検査や処置があります。いかに自分で自主的に動くかで知識量が変わってくると思います。他のグループも積極的に見学に行くことをおすすめします！！
科によってはとても放置されることがあるので「やったー」と喜んで実家に帰るのではなく(笑)先生にPHSの番号を渡して何かあったら呼んでもらえるようにしておくといろいろ手技をさせてくれることがあります。積極的に頑張るとどんな先生でも親切にしてくれます。あと患者さんには毎日会いに行くこと！それでも暇ならTECOMやMECを！！
何でも積極的に取り組めばそれでいいと思う 常識的な行動、真摯な態度で取り組む。
もっと学生に接してほしいです。
一生に一回しか回らないであろう診療科がたくさんあるので(唯一全診療科を回れる貴重な機会なので)とりあえず常に積極的に。
実際に目で見たことが一番記憶に残るので手技など積極的に参加すると良いと思います 研修医までを通してポリクリでしか回らない科も多くあるのでこの機会に勉強しておくといいと思います。
朝食はしっかり食べておこう(opeのときは16:00くらいに昼食になることも)。
最初が一番きついですがだんだん慣れてきます。
1~2週間はあつという間に過ぎます それが充実したものになるかどうかは自分の気持ち次第です。班員と上手に付き合いながら頑張ってください。
知識がない人は何をしても良いのかわからなくなりますが患者さんの所へ足を運び何かしらを受け取り帰って勉強をしましょう。生きた知識と経験を患者さんから逃げずに学びできれば何もわからなくなっても生理や基礎病態などのネット講座を一周しましょう。
実習はまじめに参加すればただ勉強になります。まじめに参加しましょう。
実習で大事なものは積極性・学力・コミュニケーション能力だと思います。この3点を重視して取り組めばきっといい実習になるはずですよ。
病は気から。
積極的に！
予習をしていった方が充実します。
診療における自分なりの考え方を学ぶべき。
一年間が長いけど頑張ってください。
先生方はみんな優しく指導して下さり患者さんもととても協力的にお話などして下さるので、しっかりやる気と誠意を持ってやってください。
とりあえずよく眠る。体が回復できるし、つらいことも忘れられます。
実習している最中は実習の調べもので精一杯になるので、各科の予習は先取りでしておくことをおすすめします。
とにかく患者さんの所に顔を出してください。
無理はしないように。
なるべく欠席のないように頑張ってください。
実習の靴は足の甲がしっかり覆われているものが良い。
外科の前は解剖だけでも確認しておくといい(何もわからずに見る手術はつらいです)。